（様式－E）

令和　　年　　月　　日

（公社）全国防災協会

会 長　脇　雅史　殿

水防専門家

○ ○ ○ ○ ○　　印

現地活動報告について（提出）

令和　年　月　日付防災協第　 号の依頼により、水防専門家として、派遣先（地方公共団体名）にて行いました現地活動について、概況報告書を下記の通り提出いたします。

記

１．派　遣　期　間

令和　 年 　月 　日 ～ 令和　 年 　月 　日（　　日間）

２．派　　遣　　先

○○県○○市

３．報告

ア）活動概要

（派遣先での活動内容の概要を記述　例：水防技術講習会の講師として、ロープワーク、土のうの作り方、水防工法（シート張り工、木流し工、月ノ輪工、積み土のう工）の実地講習を行った。

（様式－E）

イ）研修生（水防団等）へのアドバイス

（派遣先において講習生（水防団等）に対して行ったアドバイスを記述　また、講習を通じて得た講習生（水防団等）の現状、要望についても記述　例：普段ロープを使う機会が減っているため、ロープワークに不慣れな人が多かった。研修で得た知識を忘れないためにも、各自自分の所属する水防団において、他の水防団員に指導してみると良いであろう。）講習生からは、水防団員の獲得が年々困難になってきているという声があった。

ウ）水防新技術について（感想）

（今回の活動において、メーカー等より水防新技術の提供があった場合、水防新技術を使用した感想、水防新技術に対して行ったアドバイスを記述　例：「土のう製造器」　今回の新技術を用いることで土のう製作をかなり簡易にまた効率的に行うことができると思われる。ただ、土のう製造器自体の重量がかなりあるため、その移動が困難であるので、もう少し軽量化されると良いと感じた。）

エ）今後の活動に向けて（改善点）

（今回の活動を踏まえ、今後の活動において改善すべき点について記述　例：テキストの充実が必要である。また、可能であれば講習は半日ではなく1日かけられると良い。）

オ）その他

（その他気付いた点について自由に記述）